



## 支援者が寄附を集める

～ NPO 法人ルーム・トゥ・リード・ジャパンの取組 ～

### 団体の活動概要

団体の母体である国際 NGO のルーム・トゥ・リード (Room to Read) は、米国に本部があり、アジアやアフリカの開発途上国において、初等教育での読み書き能力と読書習慣を育成するとともに、少女たちが将来自立するために必要なライフスキルを身につけ、中等教育を修了できるように支援する活動を行っている。

NPO 法人ルーム・トゥ・リード・ジャパン (以下、RtRJ) は、その日本法人であり、日本での資金調達活動と、ルーム・トゥ・リードの活動の広報や啓蒙活動を行っている。

### 寄附手法の特徴

RtRJ は職員が2名のみであるところ、活動に賛同した支援者である「サポーター」自らによる、寄附集めを目的としたイベントの開催や物・サービスの提供により得た資金を、寄附として得ている。

また、サポーターが中心となって企画・運営するファンドレイジングパーティーを開催して、直接寄附を募るほか、参加費や協賛商品のオークションの落札金などを、寄附として得ている。

母体の活動が海外では有名なこともあり、多くの日本在住外国人もサポーターとして参加しているとのこと。

#### ○個人によるチャリティ・イベント

個人サポーターが、RtRJ への寄附を集めることを目的として、自主企画でチャリティ・イベントを行っている。

イベントの内容に制限はなく、食事会やヨガ教室など多岐にわたるが、マニュアルはないため、サポーター同士でノウハウをやり取りしているとのこと。

また、サポーターの共有ブログ (ブログの運営もサポーターが実施) でイベント案内をしているが、ここには必ず、参加費とそのうちいくらを何の事業に寄附するのかを記載するとともに、イベント終了後には主催者自身が参加者に対してその結果を報告しているとのこと。

イベントを企画する活動的な個人サポーターは個人サポーター全体の1割程度であり、そのうち3割程度が日本在住外国人であるとのこと。

#### ○法人による支援

法人サポーターからは、資金以外にも、プロボノ、ファンドレイジングパーティーのスポンサー、物品・サービスの無償提供、寄附付き商品の販売等の支援を得ている。

新規の支援を獲得するきっかけは、個人サポーターの紹介 (自身の勤務先から支援を引き出すなど) によることが多いとのこと。また、支援が実現するかは、相手の業務内容や CSR 方針とルーム・トゥ・リードの活動内容との親和性や、相手側担当者の理解と熱意が重要であるとのこと。



### ○ファンドレイジングパーティー

RtRJは、サポーターが中心となり約10ヶ月の準備期間をかけ、食事、講演及びチャリティオークションで構成される年に一度のパーティーを開催し、寄附を集めている。

参加者は、富裕層の個人サポーターとその友人などが多く、五割程度が日本在住外国人であるとのこと。

食事や飲物、オークションの出品物は、RtRJへの支援として法人や料理人から無償で提供を受けており、参加料及び落札金を含めすべてを寄附として得ているとのこと。オークションでは、品物やサービスのほか、プロジェクトのスポンサーとなる権利も出品している。

一回のパーティーで約1億円もの多額の寄附が集まるとのこと。

### □ 多額の寄附を得られている理由



ルーム・トゥ・リードが多額の寄附を得られているのは、ホームページや講演、創設者の書籍等を通じて、ルーム・トゥ・リードのビジョンや事業理念、現地における子どもたちやコミュニティの変化を発信することにより、共感を得ていることや、支援者であるサポーター自らが行動することによって、その熱意が伝搬していることによると考えられるとのこと。また、寄附金の事業充当率(83%)とこれまでの成果を明示することにより、透明性と効率的運営を確保していることにもよるのではないかとのこと。

## NPO 法人ルーム・トゥ・リード・ジャパン

設立年	2010年（非営利活動は2000年から実施）
事務局代表	松丸 佳穂
所在地	東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー26階
URL	<a href="http://japan.roomtoread.org/">http://japan.roomtoread.org/</a>
2013年寄附収入	105,944,932円

（2014年12月作成）

内閣府 NPO ホームページ：活動事例集